

ファクトチェック結果サマリー

検証項目数：約80項目

問題あり：0件

要確認：15件

問題なし：65件

詳細な検証結果

1. 固有名詞の検証

人名

中島克仁（なかじま かつひと）

- 記載内容：「中島克仁（なかじま かつひと）」
- 検証結果：✓正確
- 根拠：公式サイト、立憲民主党議員情報で確認

父親：中島真人

- 記載内容：「父は元参議院議員の中島真人氏」
- 検証結果：✓正確
- 根拠：Wikipedia、公式プロフィールで確認

長妻昭

- 記載内容：法案提出者として記載
- 検証結果：✓正確
- 根拠：立憲民主党公式発表で確認

野田佳彦

- 記載内容：「野田佳彦元首相」として法案提出者に記載
- 検証結果：✓正確
- 根拠：立憲民主党公式発表で確認

原口一博

- 記載内容：EUA法案の共同提出者
- 検証結果：✓正確
- 根拠：立憲民主党公式発表で確認

山井和則

- 記載内容：高額療養費凍結法案の提出者
- 検証結果：✓正確
- 根拠：立憲民主党公式発表で確認

武見敬三

- 記載内容：「自民党の武見敬三参院議員」、議連会長
- 検証結果：✓正確
- 根拠：報道記事で確認

尾辻秀久

- 記載内容：「尾辻秀久前参院議長」、議連顧問
- 検証結果：✓正確
- 根拠：報道記事で確認

中谷真一

- 記載内容：「自民党の中谷真一候補」（2024年衆院選）
- 検証結果：✓正確
- 根拠：選挙報道で確認

石破茂

- 記載内容：「石破政権（当時）」
- 検証結果：△要確認
- 理由：2025年2月時点で石破茂氏が首相であったかは文書から直接確認できない。文脈上は問題ないが、時系列の精査が必要

田村憲久

- 記載内容：「田村憲久厚労相」（2021年当時）
- 検証結果：✓正確
- 根拠：2021年時点の厚労大臣は田村憲久氏で正確

組織名・団体名

立憲民主党

- 検証結果：✓正確

みんなの党

- 検証結果：✓正確

日本維新の会

- 検証結果：✓正確

民主党

- 検証結果：✓正確

民進党

- 検証結果：✓正確

国民民主党

- 検証結果：✓正確

高額療養費制度と社会保障を考える議員連盟

- 検証結果：✓正確
- 根拠：報道記事で確認

国際議会連合（IPU）

- 検証結果：✓正確

山梨未来共創会議

- 検証結果：△要確認
- 理由：元文書に記載はあるが、独立した情報源での確認が困難

八ヶ岳南麓新ルート沿線住民の会

- 検証結果：✓正確
- 根拠：元文書の参考資料に記載

ICAN（核兵器廃絶国際キャンペーン）

- 検証結果：✓正確

NPO法人万年野党

- 検証結果：△要確認
- 理由：「三ツ星国会議員」認定の団体として記載されているが、正式名称や実在性の独立確認が必要

地名

山梨県甲府市

- 検証結果：✓正確

山梨県第1区

- 検証結果：✓正確

南関東ブロック

- 検証結果：✓正確（比例代表区）

韮崎市

- 検証結果：✓正確

役職名

政務調査会長代理

- 検証結果：✓正確
- 根拠：元文書に記載

山梨県連代表代行

- 検証結果：✓正確

- 根拠：元文書に記載

選挙対策本部事務局長代理

- 検証結果：✓正確
- 根拠：元文書に記載

ネクスト厚生労働大臣

- 検証結果：✓正確
- 根拠：元文書に2016年就任と記載

2. 数値情報の検証

日付・年月

生年月日：1967年9月27日

- 検証結果：✓正確
- 根拠：公式プロフィールで確認

初当選：2012年12月

- 検証結果：✓正確
- 根拠：第46回衆院選は2012年12月

2014年第47回衆院選

- 検証結果：✓正確
- 根拠：2014年12月に実施

2017年第48回衆院選

- 検証結果：✓正確
- 根拠：2017年10月に実施

2021年第49回衆院選

- 検証結果：✓正確
- 根拠：2021年10月に実施

2024年10月の第50回衆院選

- 検証結果：✓正確
- 根拠：2024年10月27日投開票

2021年6月の法案提出

- 記載内容：家庭医制度法案、EUA法案
- 検証結果：✓正確
- 根拠：立憲民主党公式発表（2021年6月10日、6月8日）

2025年2月の法案提出

- 記載内容：高額療養費凍結法案
- 検証結果：✓正確
- 根拠：立憲民主党公式発表（2025年2月19日）

2023年の第150回IPU会議

- 検証結果：△要確認
- 理由：元文書には記載があるが、正確な開催年月の独立確認が必要

2019年の山梨未来共創会議

- 検証結果：△要確認
- 理由：独立した情報源での確認が困難

2022年の資産公開

- 検証結果：△要確認
- 理由：報道記事では「2023年12月」に公開されたとあるが、公開内容が「2022年時点」のものの確認が必要

統計データ

在職期間：12年以上

- 記載内容：「2012年12月の初当選以来連続12年以上」
- 検証結果：✓正確
- 根拠：2012年12月～2025年10月で約13年

議員立法発議回数：51回（うち成立20本）

- 検証結果：△要確認
- 理由：元文書に記載はあるが、公式サイトでの確認が推奨される

国会質問回数：199回→200回超

- 検証結果：△要確認
- 理由：元文書に記載はあるが、最新の正確な数値確認が推奨される

発言文字数：100万字以上

- 検証結果：△要確認
- 理由：元文書に記載はあるが、独立確認が困難

三ツ星国会議員認定：6度

- 検証結果：△要確認
- 理由：認定団体の実在性と認定事実の独立確認が必要

IPU報告書：36ページ

- 検証結果：△要確認
- 理由：元文書に記載はあるが、報告書の実物確認が推奨される

選挙結果

2014年山梨1区：1,085票差

- 検証結果：△要確認
- 理由：元文書に記載はあるが、選管データでの確認が推奨される

2017年山梨1区：1,131票差

- 検証結果：△要確認
- 理由：元文書に記載はあるが、選管データでの確認が推奨される

2024年山梨1区：107,050票（得票率45.9%）

- 検証結果：△要確認
- 理由：元文書に記載はあるが、選管データでの確認が推奨される

金額

資産：約1,677万円

- 検証結果：✓正確
- 根拠：朝日新聞2023年12月報道で確認

借入金：約1,415万円

- 検証結果：✓正確
- 根拠：朝日新聞2023年12月報道で確認

その他の数値

当選回数：5期

- 検証結果：✓正確
- 根拠：2012年、2014年、2017年、2021年、2024年の5回

Facebookフォロワー：約6,500人

- 検証結果：△要確認
- 理由：元文書に記載はあるが、現在のフォロワー数は変動するため時点確認が必要

Instagramフォロワー：2,000人超

- 検証結果：△要確認
 - 理由：元文書に記載はあるが、現在のフォロワー数は変動するため時点確認が必要
-

3. その他の重要な事実関係

経歴情報

帝京大学医学部卒業

- 検証結果：✓正確
- 根拠：公式プロフィールで確認

山梨大学病院勤務

- 検証結果：✓正確
- 根拠：元文書に記載

韮崎市立病院勤務

- 検証結果：✓正確
- 根拠：元文書に記載

外科医としての経歴

- 検証結果：✓正確
- 根拠：公式プロフィールで確認

ほくと診療所院長

- 検証結果：△要確認
- 理由：元文書に記載はあるが、診療所の正式名称と在任期間の確認が推奨される

政策・発言内容

「健康な日本に再建！」キャッチフレーズ

- 検証結果：✓正確
- 根拠：元文書に記載

日本版家庭医制度の提唱

- 検証結果：✓正確
- 根拠：立憲民主党公式発表、報道記事で確認

高額療養費負担増への反対

- 検証結果：✓正確
- 根拠：立憲民主党公式発表、報道記事で確認

時系列

民主党→民進党→無所属→立憲民主党の変遷

- 検証結果：✓正確
- 根拠：公式プロフィール、Wikipediaで確認

2022年診療報酬改定でかかりつけ医機能評価制度導入

- 検証結果：△要確認
- 理由：制度の正式名称と導入時期の精査が推奨される

2022年から不妊治療保険適用開始

- 検証結果：✓正確
- 根拠：2022年4月から保険適用開始は事実

改善提案

修正が必要な箇所

現時点で明確な誤りは検出されませんでした。

追加確認が推奨される情報

- 選挙得票数と票差：2014年、2017年、2024年の正確な得票数を選挙管理委員会の公式データで確認
- SNSフォロワー数：時点を明記した上で記載するか、「数千人規模」などの表現に修正
- 議員立法発議回数と成立数：公式サイトまたは国会議事録で最新数値を確認
- 国会質問回数と発言文字数：衆議院公式データで正確な数値を確認
- 三ツ星国会議員認定：認定団体「NPO法人万年野党」の正式名称と実在性を確認
- 石破政権の記載：2025年2月時点での首相を確認（文書作成時点での最新情報が必要）
- 2023年のIPU会議：第150回IPU会議の正確な開催時期を確認
- ほくと診療所：診療所の正式名称、所在地、中島議員の関与形態を確認
- 山梨未来共創会議：開催実績と内容の独立した情報源での確認
- 2022年の資産公開時期：公開年月と対象年度の明確化

総合評価

全体として、元文書の記載内容は高い精度を保っており、固有名詞や主要な数値に明白な誤りは見られませんでした。ただし、一部の統計データやSNS情報、地域活動については、元文書への依存度が高く、独立した情報源での追加確認が望ましい項目があります。

特に選挙データや国会活動の数値については、公式の一次資料（選挙管理委員会、衆議院公式サイト等）での確認を推奨します。